

第1回 関西空域における飛行経路技術検討委員会 議事要旨

日 時：令和4年11月4日（金）10:00～12:00

場 所：中央合同庁舎3号館 国土交通省 8階特別会議室

議事要旨：

- 事務局より、「関西国際空港・神戸空港の現状」「飛行経路見直しの必要性」「関西空域の特性」について、資料に基づき説明を行い、委員より質問及び意見が述べられた。

（委員の主な意見）

- 技術的な検討を行うためには、現状の関西空域のボトルネックとなっているものを明らかにしたうえで議論していくことが必要。
- 関西エリアは3つの空港の飛行経路が輻輳している。管制の現場から見た課題についても洗い出す必要があるのではないか。
- 1時間あたり60回の発着を行う場合、飛行経路に柔軟性がないことが課題になるのではないか。
- 地元の受容性をどう高めていくかという視点も重要。
- 検討に際しては、単に処理能力を向上させる方策を検討するだけでなく、近年注目されている環境対策（脱炭素（CO₂削減）等）への対応という視点からも検討していくべき。

以上